

3.17 産学連携部門

部門長 井手信二

【部門概要】

産学連携部門では、産業界、大学等の研究ポテンシャルを結集する核となり、委託研究、共同研究、受託研究等の多面的な研究開発スキームにより戦略的に研究開発を推進し、併せて研究開発人材を育成するため、産学官連携の推進に積極的に取り組み、社会に還元し得る成果創出を実現していくことを目指している。

(1) 共同研究の推進

外部の研究リソースの有効利用による効率的・効果的な研究開発を推進するため、通常の共同研究に加え、「委託付共同研究」、「資金受入型共同研究」、「施設等利用協力研究」を行っており、これらの契約締結のための支援業務を実施している。

また、共同研究や技術移転の事前準備のために締結する「秘密保持に関する契約」についても、同様に契約締結のための支援業務を実施している。

(2) 大学等との連携、研究者交流の推進

大学等と幅広い相互協力を促進するための情報通信分野の連携促進に関する協定、連携大学院制度に基づく大学院等との教育研究に関する協定を締結している。

また、研究開発人材の育成のため、研究者、研修員の受け入れ等を推進し、そのための支援業務を実施している。

(3) 委託研究(高度通信・放送研究開発委託研究)の推進

外部機関が持つ実績や知見を活用し、NICT 自らの研究と一体的に実施することで効率化が図られるものについて、外部の研究能力等のリソースを有効利用して効果的かつ効率的な研究開発を推進している。この委託研究の実施にあたっては、NICT が研究開発課題を示して公募し、評価委員会の審査を経て受託者を決定している。

(4) 受託研究の推進

NICT の技術的ポテンシャルを生かした受託研究等を推進し、国の政策課題解決に積極的に貢献するとともに、NICT 自らの研究開発能力の向上、新たな技術シーズの創生を図っている。また、競争的資金獲得を推進し、研究者の自発的な研究能力の向上、競争力の向上を目指している。

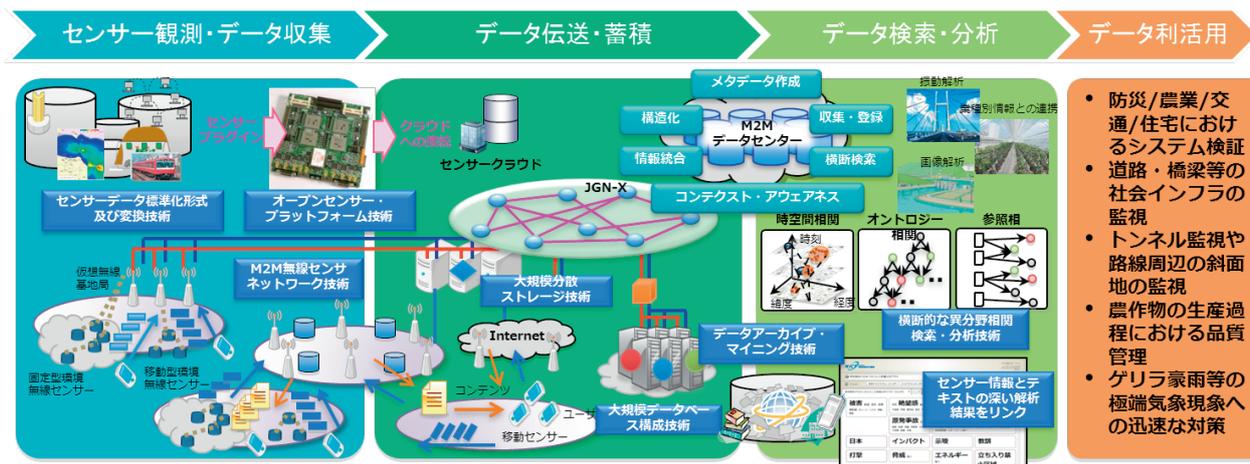
【主な記事】

(1) 大学等との相互協力協定

相互の研究開発能力及び人材を生かし、専門分野に関する学術研究及び教育の発展、地域社会への貢献を目的とした協定を東京学芸大学と締結した。また、情報通信技術の利活用等を推進することにより、社会へ貢献し、地域社会の発展及び市民福祉の増進に寄与することを目的とした協定を千葉市と締結した。

(2) ソーシャル ICT について

近年、各種センサーにより大規模に収集、蓄積される、いわゆる「ビッグデータ」の利活用を通じて、社会的課題の解決、新たな公共サービスを創出する活動が活発化している。NICT では、公共性を有するビッグデータを「ソーシャル・ビッグデータ」と位置付け、スマートシティや医療・健康、教育、インフラ、防災・減災など、新たに幅広い分野を対象として、実用化を意識した研究開発や、NICT が所有するテストベッドを活用した実証実験の提案を産学官から広く公募し、平成 26 年度 22 案件を採択し、委託研究を開始した。



ソーシャル・ビッグデータ利活用の流れ【モバイル・ワイヤレステストベッドのイメージ】

(3) 外部資金獲得推進

外部資金への応募支援、外部資金獲得のための講習会開催などにより、外部資金の獲得を推進した。平成26年度は、公募型受託研究(40件:15.7億円)、研究助成金受け入れ(84件、2.6億円)など、NICT全体で計134件、27.9億円の外部資金を獲得した。